

高齢者見守りで連携

大野町が4金融機関と協定



協定書を交わした宇佐美晃三町長(中央)と支店長ら＝大野町役場

大野町と町内に支店を持つ四つの金融機関が24日、高齢者見守りネットワーク事業の協定を締結した。今後、営業活動などで高齢者宅を訪問した各支店の職員が異常を発見した

際、すぐに町などに連絡する。

町と協定を結んだのは、いび川農業協同組合(JAいび川)、大垣共立銀行大野支店、十六銀行大野支店、大垣西濃信用金庫大野支店。

(山田雄大)

店。1人暮らしの高齢者を見守る目を増やそうと、8月の岐阜ヤクルト販売(岐阜市)との協定に続いての締結となった。

町役場で締結式が行われ、宇佐美晃三町長と支店長らが協定書に署名した。

宇佐美町長は「セーフティネットを張り巡らせていただき、町民の安心、安全の向上につなげたい」と述べ、各支店長らは「地域の金融機関として意義深い協定」「住民とのつながりを一層強化したい」などと協力を約束した。